

〔東雅^{十三}穀蔬〕茄子ナスビ略○中 倭名抄に○中 龍葵はコナスビといふと註せしは、本草に據るに、其

葉如茄子、其實味酸、中有細子、亦如茄子なるによりて、此名ありし也、もとこれ茄子の類にはあらず、防葵を呼てヤマナスビといふが如きは未詳、今俗に玫瑰をハマナスビといふなり、此物東國呼びて此名あるなり、

〔古名録^{四十三}瓜〕古奈須比倭名類聚抄 漢名牛爛茄中饋錄 今名コナスビヒトクチナスビ

正誤按ニ後人臆度ヲ以テ、龍葵古訓古奈須比ト云ニ據、イヌホウヅキトス、非也、古奈須比ハ今一口茄子ト云者此也、古ヘ龍葵ニ誤リ充、イヌホウヅキハ實黑色、南天子ノ大ニシテ、食用ニナルベキモノニ非ズ、

〔大和本草^九雜草〕龍葵 コナスビ、一名イヌホウヅキ、又ヒタイホウヅキ、葉ハ茄ニ似テ子小ニシテマルシ、熟スレバ黒シ、茄子ニハ似ズ、且大小甚異、其實ヲ汗瘡ニ付レバ愈ユ、本草ニ此能アル事ヲ不載、又一種實ノ赤アリ、龍珠ト云、日本ニハ此種未見之、

〔草木育種後編^下藥品〕龍葵いぬほづき草 山中にあり、原野の濕地に實熟するをとりすぐさまき、又春蒔て生じ易し、糞水を澆ぐ時は別て勢よし、又畦へ蒔てもよし、和蘭にて偏癩に用ふ、

〔重修本草綱目啓蒙^{十一}〕龍葵 イヌホウヅキ コナスビ ウシホウヅキ 城州 ヒタヒホウヅキ
キ○大和 イノホウヅキ○讚州 イヌゴセウ○豊前 一名狗屎珠千金翼方 天茄兒苗救荒本草 老鴉晴

通正字 鴉晴 同上 加个曹而採取月令

原野及人家ニ自生多シ、宿子地ニアリテ春苗ヲ發ス、高サ一二尺、或ハ三四尺ニ至ル、枝葉トモニ互生ス、枝ハ多ク横ニ廣ク繁布ス、葉ハ酸漿ノ葉ニ似テ、短毛多シテ臭氣アリ、夏月葉間ニ花開ク、數十萼一莖ニ簇垂ス、五瓣ニシテ白色、黃藥形番椒花ニ似タリ、花後圓實ヲ結ブ、大サ南燭子ノ如シ、生ハ青ク、熟スレバ紫色後黒色ニ變ズ、内ニ小扁子アリ、苦藏子ニ似テ淡黄色ナリ、霜後根枯ル、